

【施設状況】

グループ名称	飯綱高原観光施設(飯綱高原運動広場6、飯綱高原屋外市民ホール、小天狗の森フィールドアスレチック、飯綱高原キャンプ場、大座法師池ボート場、飯綱高原観光駐車場5、飯綱高原スキー場)							
指定管理者名	一般社団法人長野市開発公社				法人番号	9100005000010		
所管課	主	143000	観光振興課	副				
構成施設	2206	飯綱高原スキー場			大座法師池ボート場			
	5455	飯綱高原キャンプ場			飯綱高原観光駐車場5			
	2111	飯綱高原屋外市民ホール						
	2111	飯綱高原運動広場6						
	5455	小天狗の森フィールドアスレチック						
施設分類	04	レクリエーション型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03 一部利用料金制
施設概要	飯綱高原スキー場(昭和40年開設)、ハイランドホール飯綱(平成元年開設)、飯綱高原小天狗の森(昭和53年開設)・飯綱高原キャンプ場(昭和31年開設)・飯綱高原ボート場(昭和41年開設)、飯綱高原運動広場<南グラウンド(昭和60年開設)、東第一・第二グラウンド(平成4年開設)、東第三グラウンド(平成6年開設)、第一テニスコート(昭和57年開設)、第二テニスコート(平成4年開設)>							
施設設置目的	市民、観光客の文化活動及びレクリエーション活動等の増進に資するため、飯綱高原観光施設(スキー場、市民ホール、フィールドアスレチック、キャンプ場、ボート場、運動広場、駐車場)を設置する。							
基本方針等	指定管理者は、飯綱高原観光施設を有効に活用することで、「日帰り型高原リゾートサービスの提供」「通年観光ゾーンの形成」を図る。また、地域の宿泊施設などと連携し、「長期滞在型高原リゾートサービスの提供」を行い、きめ細やかなサービスを提供することで飯綱高原ファンを増やし、飯綱高原にお越しいただいたお客様の満足度を高めるよう努めるものとする。							
主な実施事業	飯綱高原スキー場(リフト:5基・コース:10コース) ハイランドホール飯綱(ステージ等)、飯綱高原小天狗の森(遊具33ポイント)、飯綱高原キャンプ場(ログキャビン等)飯綱高原ボート場(普通ボート等)、飯綱高原運動広場(グラウンド、テニスコート等)							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	一般社団法人長野市開発公社			指定回数	4 回	
指定期間	平成29年4月1日	～	令和4年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)	(一社)長野市開発公社は昭和41年社団法人(H25一般社団法人に移行)として地域の開発と資源活用による、地域福祉の向上を目的に設立された。現在も市内28施設の指定管理者として管理運営をしている。				

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
	スキー場利用者数	人	31,224	39,216	29,092	4,597	16%	
	キャンプ場利用者数	人	6,901	7,191	8,559	9,762	114%	
	ボート場利用者数	人	4,868	7,040	5,484	6,560	120%	
	ハイランドホール利用者数	人	1,477	358	1,819	1,980	109%	
	運動広場	人	4,107	2,749	2,391	2,465	103%	
	小天狗の森利用者数	人	20,163	26,560	27,760	28,490	103%	
	営業収入(指定管理料除く)	円	48,030,063	59,620,146	31,905,130	18,922,698	59%	
	(特記事項) ・スキー場 雪不足による営業期間短縮[予定86日間(12/21~3/15)⇒実績延べ18日間]							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキー場の管理運営</li> <li>・ハイランドホールの管理運営</li> <li>・キャンプ場、ボート場の管理運営</li> <li>・運動広場の管理運営</li> </ul>						
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4、第5リフト運行</li> <li>・スキー大会(市民大会県障がい者大会)の開催協力</li> <li>・主催大会(タヤマカップ、なんちゃってクロス)の開催</li> <li>・ナイターゲレンデの貸切事業</li> <li>・市民向け割引リフト券の販売</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・BBQコンロ、イス等、レンタル品の充実</li> <li>・バスパックリフト券の販売</li> <li>・レンタルスキー事業</li> <li>・づなっちじゃんけん大会</li> <li>・ホットワックスサービスの提供</li> <li>・雪不足により、大会関係中止</li> </ul>				
サービス維持・向上の取組み(広報等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページにおいてスキー場の積雪量等を毎日更新し情報発信</li> <li>・バスエプロン広告でバスパック券の宣伝</li> </ul>							

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	
利用者からの評価・苦情等	(2) 調査、会議等の内容	<スキー場> 各部署でスタッフが利用者に声掛けにより聞き取り  <キャンプ場> チェックアウト時に利用の感想を聞き取り		
	(3) 調査、会議等の結果	SNS等口コミ評判		
	(1) 良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフト料金が安く利用しやすい。</li> <li>・レンタルスキーの道具が比較的新しく良い。</li> <li>・キャンプ場内は手入れが行き届き、特にトイレはきれいで良い。</li> <li>・オートキャンプ場よりも安く利用しやすい。</li> <li>・係員の対応が良い。(キャンプ場)</li> </ul>		
	(2) 苦情・改善等の要望事項	スキー場シーズン券の購入者が、滑走可能日数が少なかったため料金を返金してほしいと言われた		
	《対応措置》	シーズン券申込用紙に、いかなる場合も返金できないと記載されているので、説明しご理解していただいた		

3

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金 66,558,000 指定管理料 98,562,000 委託料 販売収入等 その他収入 1,757,000 計 166,877,000	利用料金 10,471,704 指定管理料 98,431,096 委託料 販売収入等 その他収入 700,553 計 109,603,353	歳入	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料 34,851 貸付料 その他 計 828,851	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料 35,325 貸付料 その他 計 232,325			
支出	人件費 74,443,000 設備管理費 14,931,000 備品購入費 3,344,000 修繕費 7,044,000 光熱水費 16,389,000 事業費 22,364,000 事務経費 本社経費 9,032,000 その他 19,330,000 計 166,877,000	人件費 59,713,543 設備管理費 9,667,053 備品購入費 752,958 修繕費 1,737,495 光熱水費 6,637,624 事業費 15,097,668 事務経費 本社経費 6,838,197 その他 15,646,667 計 116,091,205	歳出	指定管理料 98,431,096 委託料 需用費 役務費 75,844 使用料・賃借料 1,344,300 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他 計 99,851,240	指定管理料 96,717,130 委託料 需用費 役務費 73,499 使用料・賃借料 1,344,300 修繕費 工事請負費 9,666,000 備品購入費 その他 計 107,800,929				
自主事業	収入 35,430,000 支出 37,666,000 自主事業損益 -2,236,000	収入 8,090,005 支出 20,828,547 自主事業損益 -12,738,542							
損益	-2,236,000	-19,226,394	差引	-99,022,389	-107,568,604				
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								51.4%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				収入見込額と実績にそれぞれ一定比率を掛けて算出しているため、収入実績に応じて計画額と差が生じるもの。					

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績(うち市内雇用職員数) 常勤8人(うち市内雇用者数8人) 冬期増員51名(うち市内雇用者47名) 索道技術管理者3人、危険物取扱責任者1人、防火管理者1人、長野県パトロール資格員4人、大型免許資格2人、大型特殊免許資格5人、食品衛生責任者1人、長野県日赤救急法受講者8人	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが滞りなく提出されたか		

6 危機管理体制

※ すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元雇用の推進</li> <li>・運動広場管理業務を地元観光協会へ委託</li> <li>・高原の泉(トイレ)清掃管理業務を地元観光協会へ委託</li> <li>・飯綱高原を美しくする会の活動協力(清掃登山、ごみ清掃等)</li> <li>・地元の各種総会及び関係会議への出席</li> <li>・スキー場運営協議会(主催)と協働したスキー大会開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯綱火まつり開催のための支援、協力</li> <li>・地域宿泊施設と連携した宿泊パック券の継続</li> <li>・県短大との協働によるキッズ向けイベント開催</li> <li>・飯綱高原観光協会主催のフリーマーケットへの協力</li> <li>・飯綱高原観光協会青年部会アドバイザー</li> <li>・雪不足により各種スキー大会が中止</li> </ul>	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	12	
管理運営全般	3	6	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
<b>合計得点</b>			

評価理由	<p>・「地域連携」の項目は、飯綱高原観光協会をはじめとする地域のイベントへの積極的な参加、協力があると認められることから「4」とした。</p>
------	--

取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキー場の経営効率化と魅力の向上</li> <li>・特にグリーンシーズンにおける、飯綱高原観光施設の誘客強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度限りでのスキー場の廃止を決定した。</li> <li>・(仮称)山の駅飯綱高原の整備事業に係る事業者選定を行うなど、同事業をスタートした。</li> </ul>	

次年度の目標・取組み等(施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯綱高原観光施設の整備計画に基づき、飯綱高原の誘客強化に向けた取組みを進めていく。</li> </ul>
--------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

・スキー場はシニアの利用者が多いことから、消防局飯綱分署による心肺蘇生法及びAEDの使用法の講習を全従業員で行い、緊急時に対応できるようにした。

② 業務の効率化に対する取組み

・スキー場運営は施設の性質上、整備費・修繕費の費用が多く掛かるため、索道施設や機械関係の知識を高めることにより業者に全部依頼するのではなく、できるだけ自主的に整備等を行えるようにして経費削減に努めた。  
 ・業務分担については、閑散期には兼務して行うことにより人件費を抑えるよう努めた。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

・季節ごとの気候が安定していないため、収入も安定しない。  
 ・施設の維持にはそれなりに費用をかけているが、新規の設備投資などを行わないため、売上げの増加は難しい。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

D

① 評価理由

業務自体は予定通りであるが、スキー場が雪不足により目標を大きく下回ったため。

② 次年度以降の取組み

スキー場は令和元年度をもって廃止することが決定しているため、キャンプ場等のその他の施設について集客力の向上を目指していく。